

# Stereo Sound

特集1=いま心惹かれる10のスピーカー

特集2=達人が明かすハイレゾ再生の実践テクニック

追悼特集=菅野冲彦先生の心の旅 / 速報=エソテリックGrandioso P1X+D1X



2019  
SPRING  
No. 210



## スイッチングハブ

ソム **SNH10G** ¥180,000

●入出力端子:RJ45×8系統、SFPポート×2系統●備考:写真・価格は高性能クロック内蔵モデル、別価格に標準仕様モデル(¥160,000)、10MHzクロック入力端子付きモデル(¥200,000)あり●寸法/重量:W296×H50×D211mm/2kg●問合せ先:瀬フライトーン ☎03(6869)0516

# 韓国SotMからオーディオ用途の スイッチングハブが登場

三浦孝仁

ネットワークオーディオの音質改善が進んでいる。オーディオ専用NASや音質重視のLANケーブル、アクセサリ類の登場など、新しい分野らしく市場は活況を呈している。

SNH10Gは、ソム(SotM)が発したギガビット対応のLANスイッチである。SotMはソウル・オブ・ザ・ミュージックを略したブランド。PCオーディオに精通している韓国のイルウォン・リー氏が代表を務める、気鋭のオーディオメーカーである。

ネットワーク信号の中継器であるLANスイッチ(スイッチングハブ)によって音質は左右されるのか? 答えはYESである。始めたばかりの頃は気づかなかつたけれども、異なる環境での音質変化を体験するうちに、私は音質を劣化させる要因があることを知った。電源環境もそうだが、必需的なLANスイッチも万全ではなかった。

LANスイッチによる音質改善を知らしめた製品に、日本テレガートナーのM12・ゴールド・スイッチがある。工業用に開発された独テレガートナーのM12端子を搭載する端子の堅牢な製品であ

るが、ソムのSNH10Gでは一般的なRJ45端子(合計8端子)が使われている。そして、光伝送などを可能にするSFPモジュール対応の空きスロットを2つ装備。軽量の筐体はアルミニウム製で、前面のLEDを点灯させるモードと消灯モードを選択できる電源スイッチがある。電源部は別売設定なので注意してほしい。SNH10Gにはヴァリエーションがある。標準モデルと、高性能クロックモジュールを内蔵したもの、それに10MHz正弦波マスタークロック入力端子が加わった3種類である。輸入元によると、マスタークロック入力を装備する仕様(20万円)がもっとも高い人気なのだという。

昨年冬から、私はSNH10Gを自宅に使っている。dCSとスフォルツァーを鳴らす環境で、それまで使っていたLANスイッチから換えたときの音の違いに愕然とした次第。音場空間の透明感が増して、暗騒音領域で感じられた雑味成分が消えたのだ……。奥行き感も深まる印象で、音楽を構築している一音一音が克明に描かれる。